

【体育館(一般公共の用に供されるものに限る。)、ボーリング場、スケート場、水泳場その他これらに類する運動施設】

建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上必要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
					内容	実施時期	
県立体育館	浜田市黒川町3735番地	体育館	附表② 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版) 附表③ 「屋内運動場等の耐震性能診断基準」	Is/Is ₀ =1.11 C _{TU} ・S _D =0.30	-	-	Is ₀ =0.7 Z=1.0 G=1.0 U=1.0
益田市民体育館	益田市乙吉町290	体育館	附表② 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Is ₀ =1.07 C _{TU} ・S _D =0.31	-	-	Is ₀ =0.7 Z=1.0 G=1.0 U=1.0
安来市民体育館	安来市安来町1337-1	体育館	-	-	改修	平成30年度に完了	
大体育館部分	-	-	附表② 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Is ₀ =0.77 C _{TU} ・S _D =0.64 改修工事完了	-	-	Is ₀ =0.7 Z=0.9 G=1.0 U=1.0
小体育館部分	-	-	附表② 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Is ₀ =0.74 C _{TU} ・S _D =0.63 改修工事完了	-	-	Is ₀ =0.7 Z=0.9 G=1.0 U=1.0

【病院又は診療所】

建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上必要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
					内容	実施時期	
安来市立病院 本館	安来市広瀬町広瀬1931番地	病院	-	-	-	検討中	
鉄筋コンクリート造部分	-	-	附表② 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=0.65$ $C_{TU} \cdot S_D=0.50$	-	-	$I_{so}=0.75$ $Z=1.0$ $G=1.0$ $U=1.25$
鉄骨造部分	-	-	附表① 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(2011年版)	$I_s=1.02$ $q=3.40$	-	-	

【集会所又は公会堂】

建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上必要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
					内容	実施時期	
江津市立コミュニティセンター	江津市桜江町川戸11-1	集会場	附表② 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Is0=1.01 C _{TU} ・S _D =0.72 改修工事完了	改修	平成28年度に完了	Is0=0.7 Z=1.0 G=1.0 U=1.0

【保健所、税務署その他これらに類する公益上必要な建築物】

建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上必要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
					内容	実施時期	
浜田市役所庁舎	浜田市殿町1番地	公益上必要な建築物	附表② 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.00$ $C_{TU} \cdot S_D=0.44$	-	-	$I_{so}=0.7$ $Z=1.0$ $G=1.0$ $U=1.25$
益田合同庁舎	益田市昭和町13-1	公益上必要な建築物	附表② 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.00$ $C_{TU} \cdot S_D=0.71$	-	-	$I_{so}=0.7$ $Z=1.0$ $G=1.0$ $U=1.0$
大田市役所庁舎	大田市大田町大田口1111番地	公益上必要な建築物	附表② 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=0.65$ $C_{TU} \cdot S_D=0.45$	改修	平成33年度以降に着手	$I_{so}=0.68$ $Z=0.9$ $G=1.0$ $U=1.25$

【幼稚園又は小学校等】

建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上必要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
					内容	実施時期	
浜田市立第一中学校 管理教室棟	浜田市黒川町3745番地	小学校等	-	-	-	-	-
東側部分	-	-	附表② 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0}=1.10$ $C_{TU} \cdot S_D=0.79$	-	-	$I_{s0}=0.7$ $Z=1.0$ $G=1.0$ $U=1.0$
中央部分	-	-	附表② 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0}=1.01$ $C_{TU} \cdot S_D=0.73$	-	-	$I_{s0}=0.7$ $Z=1.0$ $G=1.0$ $U=1.0$
西側部分	-	-	附表② 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0}=1.00$ $C_{TU} \cdot S_D=0.73$	-	-	$I_{s0}=0.7$ $Z=1.0$ $G=1.0$ $U=1.0$
益田市立益田中学校 管理・教室棟	益田市栄町14-6	小学校等	附表② 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0}=1.01$ $C_{TU} \cdot S_D=0.75$	-	-	$I_{s0}=0.7$ $Z=1.0$ $G=1.0$ $U=1.0$
大田市立仁摩小学校 管理・教室棟	大田市仁摩町仁万176番地2	小学校等	-	-	-	-	-
東側部分	-	-	附表② 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0}=1.02$ $C_{TU} \cdot S_D=0.40$	-	-	$I_{s0}=0.7$ $Z=1.0$ $G=1.0$ $U=1.0$
西側部分	-	-	附表② 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0}=1.05$ $C_{TU} \cdot S_D=0.40$	-	-	$I_{s0}=0.7$ $Z=1.0$ $G=1.0$ $U=1.0$
大田市立第一中学校 校舎棟	大田市大田町大田口656	小学校等	附表② 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0}=1.08$ $C_{TU} \cdot S_D=0.76$	-	-	$I_{s0}=0.7$ $Z=1.0$ $G=1.0$ $U=1.0$
雲南市立木次中学校 教室棟	雲南市木次町新市421	小学校等	-	-	-	-	-
北側部分	-	-	附表② 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0}=1.28$ $C_{TU} \cdot S_D=0.94$	-	-	$I_{s0}=0.7$ $Z=1.0$ $G=1.0$ $U=1.0$
中央部分	-	-	附表② 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0}=1.14$ $C_{TU} \cdot S_D=0.83$	-	-	$I_{s0}=0.7$ $Z=1.0$ $G=1.0$ $U=1.0$
南側部分	-	-	附表② 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0}=1.25$ $C_{TU} \cdot S_D=0.52$	-	-	$I_{s0}=0.7$ $Z=1.0$ $G=1.0$ $U=1.0$
雲南市立西小学校 管理教室棟	雲南市大東町仁和寺2435-11	小学校等	附表② 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0}=1.04$ $C_{TU} \cdot S_D=0.54$	-	-	$I_{s0}=0.7$ $Z=1.0$ $G=1.0$ $U=1.0$
雲南市立木次小学校 教室棟	雲南市木次町木次1001-1	小学校等	附表② 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0}=1.01$ $C_{TU} \cdot S_D=0.63$	-	-	$I_{s0}=0.7$ $Z=1.0$ $G=1.0$ $U=1.0$

【幼稚園又は小学校等】

建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上必要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
					内容	実施時期	
邑南町立石見中学校	邑智郡邑南町中野2645番地	小学校等	-	-	-	-	-
教室棟	-	-	附表② 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.11$ $C_{TU} \cdot S_D=0.58$	-	-	$I_{so}=0.6$ $Z=1.0$ $G=1.0$ $U=1.0$
管理特別教室棟	-	-	附表② 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.11$ $C_{TU} \cdot S_D=0.54$	-	-	$I_{so}=0.6$ $Z=1.0$ $G=1.0$ $U=1.0$

【火薬類、石油類その他政令で定める危険物であって政令で定める数量以上のものの貯蔵場又は処理場の用途に供する建築物】

建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上必要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
					内容	実施時期	
日立金属株式会社安来工場 プレス工場	安来市飯島町字川尻1240番地 2他33筆	危険物の処理場	附表① 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(2011年版)	$I_s=0.04$ $q=0.14$	改修	平成30年度に着手	

■附表 耐震診断の評価の結果と構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価

耐震診断の方法の名称		構造耐力上必要な部分の地震に対する安全性		
		I	II	III
①	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」（1996年版、2011年版）	$I_s < 0.3$ 又は $q < 0.5$	左右以外の場合	$0.6 \leq I_s$ かつ $1.0 \leq q$
②	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」（2001年版）	$I_s/I_{so} < 0.5$ 又は $C_{TV} \cdot S_D < 0.15 \cdot Z \cdot G \cdot U$	左右以外の場合	$1.0 \leq I_s/I_{so}$ かつ $0.3 \cdot Z \cdot G \cdot U \leq C_{TV} \cdot S_D$
③	「屋内運動場等の耐震性能診断基準」	$I_s < 0.3$ 又は $q < 0.5$	左右以外の場合	$0.7 \leq I_s$ かつ $1.0 \leq q$

- I. 地震の振動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が高い。
- II. 地震の振動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性がある。
- III. 地震の振動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い。

(※) 構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性については、震度6強から7に達する程度の大規模の地震に対する安全性を示す。
いずれの区分に該当する場合であっても、違法に建築されたものや劣化が放置されたものでない限りは、震度5強程度の中規模地震に対しては損傷が生じることや倒壊するおそれは少ない。